

砂防だより

平成23年度 第1号

Contents

<1面>

- ・新燃岳噴火から約4ヶ月
国土交通省のこれまでの
取り組み

<2面>

- ・新燃岳噴火後、初めての
登山調査を実施！
- ・職員紹介
- ・編集担当の「つぶやき」

「砂防だより」は、国土交通省大淀川砂防出張所が作成する、砂防事業広報紙です。大淀川砂防出張所が事業を実施している地域の皆様へ、役場や支所を通じて回覧しています。

<回覧地区>

- 西諸県郡高原町
- 都城市山田町の一部
- 都城市高崎町の一部
- 都城市夏尾及び御池地区

新燃岳噴火から約4ヶ月 国土交通省のこれまでの取り組み

新燃岳は1月19日噴火以降、5月末までに計13回の噴火が観測され、噴石の飛来や降灰の影響で物損被害や農畜産物の被害も発生しました。

噴火活動は最盛期に比べると回数も減りつつありますが、梅雨や台風のシーズンを迎え、土石流の発生にも警戒しなければならず、まだまだ予断を許さない状況が続いています。

新燃岳噴火から約4ヶ月が経ちますが、国土交通省ではこれまでに様々な防災業務に全力で取り組んで参りました。ここでその一部を紹介させていただきます。



(新燃岳1月27日噴火)



宮崎県都城市降灰状況(H23.2.2)

①降灰対策

宮崎県・鹿児島県から要請を受け、国土交通省が保有する対策車両を全国各地より派遣し降灰対策を行いました。

1月27日～2月23日まで延べ2,301台・日で路面清掃を実施し、約2,324m²(25mプール約5杯に相当)を処理しました。



路面清掃車による清掃状況

②土石流監視体制

土石流の発生する危険性が高まっている箇所には土石流センサーや監視カメラを設置し、常に土石流発生への警戒を行っています。

また、雨が降った後には職員等を派遣し、土石流発生確認の調査を行い、新聞やテレビを通じて皆さまに公表しています。



溪流監視カメラの映像

③緊急対策工事

土石流が発生した際に土石流の氾濫を抑えるため、既設の砂防ダム上流の土砂を掘削除去し、ポケットを確保しました。

また、施設のない箇所に応急的な導流堤や砂防ダムを設置しました。

5月31日までに19件の緊急対策工事を完成させました。引き続き抜本的な対策にも取り組みます。

今後とも緊急対策工事等へのご理解とご協力をよろしくお願い致します。



荒川内川の緊急氾濫防止対策工事

お電話ください



- ご意見、ご質問
- 砂防工事に関する苦情
- 砂防施設の異状通報
- その他情報提供

国土交通省宮崎河川国道事務所
大淀川砂防出張所

〒889-4412
宮崎県西諸県郡高原町西麓
字大迫1847-1

TEL (0984)42-1364
FAX (0984)42-4703



工事中

★ その他さまざまな調査や工事を実施していますので、次号以降で紹介していきますが、早急に情報を知りたい方、見たい方は、砂防出張所までご連絡下さい。

新燃岳噴火後、初めての登山調査を実施！

国土交通省では噴火直後から降灰状況などの調査・分析を行い、土石流に対する警戒を強めていますが、新燃岳の噴火警報は今も継続して発令されており、火口から3kmの範囲は入山が規制されているため、これまでは山に近づいて調査することができませんでした。

しかし今回、特別な許可を得て高千穂峰に登山し、調査することができましたので、山頂付近の状況を報告させていただきます。

(まだまだ危険な状態ですので、皆さんはくれぐれも立入禁止区域に近付かないようにお願いします。)

下の比較写真をご覧ください。新燃岳～中岳～御鉢～高千穂峰には想像以上に噴石や火山灰が厚く堆積していました。

これまでに降り積もった火山灰が雨水をしみ込みにくくさせるため、地表を流れる水が多くなり、土石流が発生する危険性が高まっています。

また、噴火の影響から草や木も枯れており、山の保水能力は以前よりも衰えていると考えられます。今後も防災情報をチェックして、素早く対応できるように日頃から準備を心がけてください。



ミヤマキリシマも壊滅的な被害を受けてました。



直径10cmを超える大きな噴石も発見！！



撮影日：平成22年10月16日



撮影日：平成23年5月31日

職員紹介



よろしくお願いします！！

本年4月より出張所長として着任しました江口です。本年度の第1版の発行にあたりまして、自己紹介もかねて挨拶させていただきます。出身地は福岡県で前任地は熊本市内の出張所に勤務していました。年齢はそれなりにいってしますので実年齢の公表は避けときますが、身長はかなりでかいので出張所に来所していただければ一目瞭然かと思えます。1月26日の新燃岳の大噴火をテレビで見ながら「宮崎は色々大変だな～」というくらいの感覚で見えていましたが、まさか2ヶ月後に新燃岳現場担当の当事者になるとは想像もしていないことでした。既に着任して2ヶ月ほど経ちましたが、人間味あふれる地域の方々たちと接していると、新燃岳の噴火による緊急的な業務も精一杯頑張らねばという思いにさせられます。

しばらくは梅雨期まっただ中で、地域の方々におかれましては枕を高くして寝れない状態が続くと思いますが、一刻も早く「安心・安全」な環境で生活できるように、地域の皆様方をはじめ市役所並びに町役場とも連携し、出張所職員一丸となって新燃岳対応を図っていきますので、ご協力方よろしくお願いします。

最後に宮崎勤務は初めてですので、美味しい食材や風光明媚な観光地めぐり、はたまた自然を活かしたスポーツ等々を、これから目一杯堪能していきながら、新燃岳対応を頑張っていきたいと思えます。

編集担当の



- ◆先日は新燃岳噴火後、初めての登山調査を行い、言葉が失うほどの衝撃を受けました。
- ◆東北や関東でも地震や津波で大きな被害が出ていますが、改めて自然の驚異を実感しました。
- ◆国土交通省は災害対応が使命です。全国各地で職員の仲間も奮闘しています。
- ◆高千穂峰山頂のアマノサカホコには、坂本龍馬が訪れ決意を誓ったという言い伝えが残っているそうですが、われわれ国土交通省職員も身を引き締めて、これからも防災業務に努めなければ！と決意を新たにしました。登山になりました。(U)

国土交通省宮崎河川国道事務所
大淀川砂防出張所 広報紙
「砂防だより」

平成23年度 第1号

(平成23年6月7日 作成)